

平成 22 年度事業報告

1. 調査事業

(1) 自主事業（歴史的建造物保全・活用計画 関連調査） [担当・協力 敬称略]

- ・金子家住宅現況調査 [大野、協力：有限会社ユー・エス・シー]
- ・横浜松坂屋本館内部調査 [吉田]
- ・伊東医院現地調査 [吉田]
- ・横浜山手聖公会現地調査 [関]
- ・本町ビル 現地調査 [吉田]
- ・本郷3丁目地区公園用地内煉瓦造遺構現地調査 [宮村]
- ・カトリック横浜司教館別館現地調査 [関]
- ・フェリス女学院短大6号館 現地調査 [関]
- ・ハンマーヘッドクレーン視察 [宮村・中藤]
- ・掃部山公園水路現場確認 [堀・中藤]
- ・横浜海洋会館耐震補強工事現場確認 [吉田]

(この他、文化庁事業の中で山手地区の調査を実施)

(2) 受託事業

① 歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務*

[歴史的建造物の詳細調査及び保全活用方針の検討]

- ・インペリアルビル調査 [吉田、協力：有限会社ユー・エス・シー]
- ・フェリス6号館別館調査 [関、協力：有限会社ユー・エス・シー]
- ・本町ビル調査 [吉田、協力：株式会社山手総合計画研究所]

[保全計画案の策定]

- ・「インペリアルビル」保全活用計画 [吉田]
- ・「カトリック横浜司教館別館」保全と活用に関する計画 [関]
- ・「旧東伏見邦英伯爵別邸」保全と活用に関する計画 [関]

- ・新たな制度等活用検討業務（歴史まちづくり法調査）

2. 普及啓発事業

(1) 自主事業

① 自主企画セミナーの実施

- ・文化庁事業の中でセミナーを実施

② オープンヘリテイジ in 山手

③ 横浜市マザーポートエリア活性化推進事業

- ・セミナー（フェリス10号館）
- ・中尾良一氏絵画展

④ ホームページの運用

⑤ 書籍販売

- ・『都市の記憶－横浜の土木遺産』
- ・『都市の記憶－横浜の主要歴史的建造物』第4版・第5版

- ・『横濱新聞縮刷版』
- ⑥『都市の記憶－横浜の主要歴史的建造物』改訂第5版印刷

(2) 受託事業

- ①歴史を生かしたまちづくり広報紙（『横濱新聞第25号』）編集業務*
- ②『都市の記憶－横浜の主要歴史的建造物』の改訂*
- ③堀割川の魅力ツール作成業務（委託：磯子区）
- ④旧帝蚕倉庫赤レンガ配布事業（委託：同実行委員会）

（歴史を生かしたまちづくりセミナー業務は、地震の影響により中止）

3. 会員事業

- ①「ヨコハマヘリテイジサポートクラブ会員」の募集・管理
- ② 会員向けメールマガジンの発行（毎月発行）

4. その他

文化庁 地域伝統文化総合活性化事業

「横浜の近代建築資産の保存・活用によるまちの魅力づくり」

- ・市民啓発セミナー
- ・人材育成研修会
- ・山手調査
- ・記録作成

注) * いずれも「歴史的建造物保全に関する計画案策定及び普及啓発業務委託」
（横浜市都市デザイン室）による

1. 調査事業

(1) 自主事業

| | |
|-----------|--|
| 1 | |
| 事業名 | 歴史的建造物保全・活用計画 関連調査 |
| テーマ | 歴史的建造物の調査、保全活用計画の監修等 |
| 実施時期 | 平成 22 年 4 月～23 年 3 月 |
| 実施場所 | 横浜市内 |
| 担当理事・社員等 | 吉田鋼市（理事） 大野 敏（理事） 関 和明（理事） 宮村 忠（代表理事） 中藤誠二（社員） 堀 勇良（理事） （敬称略 実施順に掲載） |
| （* 外部協力者） | * 有限会社ユー・エス・シー |
| 参加者／対象者 | － |
| 概要 | <p>[歴史的建造物調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金子家住宅現況調査 [大野、協力：有限会社ユー・エス・シー] ・横浜松坂屋本館内部調査 [吉田] ・伊東医院現地調査 [吉田] ・横浜山手聖公会現地調査 [関] ・本町ビル 現地調査 [吉田] ・本郷 3 丁目地区公園用地内煉瓦造遺構現地調査 [宮村] ・カトリック横浜司教館別館現地調査 [関] ・フェリス女学院短大 6 号館 現地調査 [関] ・ハンマーヘッドクレーン視察 [宮村・中藤] ・掃部山公園水路現場確認 [堀・中藤] ・横浜海洋会館耐震補強工事現場確認 [吉田] <p>（この他、文化庁事業の中で山手地区の調査を実施）</p> |

(2) 受託事業

| 2 | |
|----------------------|---|
| 事業名 | 歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 インペリアルビル調査 |
| 委託者 | 横浜市都市整備局都市デザイン室 |
| テーマ | 歴史的建造物の詳細調査及び保全活用方針の検討 |
| 担当理事・社員等 (※外部協力者) | 吉田鋼市 (理事) * 有限会社ユー・エス・シー |
| 概要 [実施時期][場所] | <ul style="list-style-type: none">横浜市認定歴史的建造物の認定に向けた調査実測調査、関連資料調査等を行い、創建当初の平面図、立面図を復原し、保全活用計画作成のための保全部位等を検討した。 |

| 3 | |
|----------------------|---|
| 事業名 | 歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 フェリス6号館別館調査 |
| 委託者 | 横浜市都市整備局都市デザイン室 |
| テーマ | 歴史的建造物の詳細調査及び保全活用方針の検討 |
| 担当理事・社員等 (※外部協力者) | 関 和明 (理事) * 有限会社ユー・エス・シー |
| 概要 [実施時期][場所] | <ul style="list-style-type: none">横浜市認定歴史的建造物の認定に向けた調査実測調査、関連資料調査等を行い、創建当初の平面図、立面図を復原し、保全活用計画作成のための保全部位等を検討した。 |

| 4 | |
|------------------|--|
| 事業名 | 歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 本町ビル調査 |
| 委託者 | 横浜市都市整備局都市デザイン室 |
| テーマ | 歴史的建造物の詳細調査及び保全活用方針の検討 |
| 担当理事・社員等 | 吉田鋼市（理事） |
| （*外部協力者） | *株式会社山手総合計画研究所 |
| 概要 [実施時期][場所] | ・平成22年、建て替えのため解体が決まり、記録保存調査として、実測調査及び記録写真撮影を行った。 |

| 5 | |
|------------------|---|
| 事業名 | 歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 「インペリアルビル」保全活用計画 |
| 委託者 | 横浜市都市整備局都市デザイン室 |
| テーマ | 保全計画案の策定 |
| 担当理事・社員等 | 吉田鋼市（理事） |
| （*外部協力者） | - |
| 概要 [実施時期][場所] | ・歴史的価値及び現状についての考察を行い、保全の方針及び保全すべき部位等を計画案として示した。 |

| 6 | |
|----------------------|---|
| 事業名 | 歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 「カトリック横浜司教館別館」保全と活用に関する計画 |
| 委託者 | 横浜市都市整備局都市デザイン室 |
| テーマ | 保全計画案の策定 |
| 担当理事・社員等 (※外部協力者) | 関 和明 (理事) - |
| 概要 [実施時期][場所] | ・歴史的価値及び現状についての考察を行い、保全の方針及び保全すべき部位等を計画案として示した。 |

| 7 | |
|----------------------|---|
| 事業名 | 歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 「旧東伏見邦英伯爵別邸」保全と活用に関する計画 |
| 委託者 | 横浜市都市整備局都市デザイン室 |
| テーマ | 保全計画案の策定 |
| 担当理事・社員等 (※外部協力者) | 関 和明 (理事) - |
| 概要 [実施時期][場所] | ・歴史的価値及び現状についての考察を行い、保全の方針及び保全すべき部位等を計画案として示した。 |

| 8 | |
|----------------------|---|
| 事業名 | 歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 新たな制度等活用検討業務（歴史まちづくり法調査） |
| 委託者 | 横浜市都市整備局都市デザイン室 |
| テーマ | 歴史まちづくり法及び関連制度活用の検討 |
| 担当理事・社員等 （*外部協力者） | - *山田伸幸都市計画事務所 |
| 概要 [実施時期][場所] | <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市における歴史を生かしたまちづくりのさらなる展開に向けて、今後、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」及び関連制度を本市において活用することについての基礎的な調査、検討を行った。 ・調査にあたっては、文献調査及び、関係者へのヒアリング等を実施した。 ・歴史まちづくり法の活用の可能性及び先進事例調査をもとに、①関内地区（MM21 エリアの一部を含む）、②横浜山手地区、③本牧・根岸・三溪園地区 を横浜市に置ける重点区域候補地として、現況分析および、法に基づく支援制度、事業制度の活用イメージを検討した。 |

2. 普及啓発事業

(1) 自主事業

| 9 | |
|----------|---|
| 事業名 | 自主企画セミナーの実施（文化庁事業として実施） |
| テーマ | 市民向けセミナーの実施 |
| 実施時期 | 平成22年9月～23年1月 |
| 実施場所 | 横浜市中区 |
| 担当理事・社員等 | 宮村 忠（代表理事） 吉田鋼市（理事） 堀 勇良（理事） 米山淳一（常務理事） |
| （*外部協力者） | *（概要欄に記載） |
| 参加者／対象者 | 一般市民 |
| 概要 | <p>(1) 「象の鼻・転車台」</p> <p>日 時 2010年7月25日（日）13:00～16:00</p> <p>会 場 （講演）BankART Studio NYK カフェリブ （見学）象の鼻・転車台ほか</p> <p>講 師 堀 勇良氏（建築史家・横浜歴史資産調査会理事）</p> <p>参加者 59名</p> <p>(2) 「生糸がつくった建物、生糸を守った建物」</p> <p>日 時 2010年11月27日（土）10:30～13:00</p> <p>会 場 （講演）横浜市開港記念会館1号室（中区本町1-6） （見学）本町周辺・シルク博物館</p> <p>講 師 吉田 鋼市 氏（横浜国立大学大学院教授・当会理事）</p> <p>参加者 51名</p> <p>(3) シンポジウム 「絹が育てた横浜の近代建築」</p> <p>日 時 2011年2月11日（祝・金）13:30～16:30</p> <p>会 場 ヨコハマ創造都市センター（YCC）3階</p> <p>参加者 93名</p> <p>□講演Ⅰ 横浜開港とシルク貿易（シルク博物館専門員 小泉勝夫）</p> <p>□講演Ⅱ 絹が育てた歴史的建造物と町並（工学院大学教授 後藤治）</p> <p>□パネルディスカッション 絹がつくるまちづくり</p> <p>星 和彦（NPO法人 街・建築・文化再生集団）</p> <p>松尾 俊彦（町田市街づくり審査会委員）</p> <p>北澤 克夫（協同組合ギルダ横浜）</p> <p>吉田 鋼市（横浜国立大学大学院教授・当法人副会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター 米山 淳一（当法人常務理事） ・コメンテーター 後藤 治（工学院大学教授） |


| 10 | |
|----------------------|---|
| 事業名 | オープンヘリテイジ in 山手 |
| テーマ | 山手町界隈の歴史的建造物の見学会 |
| 実施時期 | 平成 22 年 10 月 |
| 実施場所 | 横浜市中区山手町 |
| 担当理事・社員等 （＊外部協力者） | － － |
| 参加者／対象者 | 参加者 166 名（一般市民 145 名、会員 21 名） |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市都市整備局と共催で実施。事前の広報、当日の受付等の運営補助を担当した。 ・見学会は、受付（フェリス 10 号館、外交官の家、111 番館の 3 ヶ所）で資料（地図・解説）を配布し、それを参考に自由に対象建築物（山手の西洋館）を見て回る形式で実施した。 ・特別公開として、フェリス 10 号館の公開（通常は非公開）、外交官の家・111 番館の非公開部分の公開等を実施した。 ・横浜市マザーポートエリア活性化推進事業の一環で当会が実施した、フェリス 10 号館のセミナー、中尾良一氏絵画展（ベーリックホール）とあわせて参加する市民も多く、活況であった。 |

| | |
|-----------|---|
| 事業名 | 横浜市マザーポートエリア活性化推進事業 |
| テーマ | |
| 実施時期 | 平成 22 年 10 月 |
| 実施場所 | 横浜市中区 |
| 担当理事・社員等 | 関 和明（理事） 吉田鋼市（理事） |
| （* 外部協力者） | * 中尾良一氏ご家族 松井 健氏（鹿島建設株式会社） |
| 参加者／対象者 | 一般市民 来館者数（ベーリックホール調べ） 3,690 人 セミナー参加者数 第 1 回 46 名 第 2 回 34 名 |
| 概要 | <p>「横浜市マザーポートエリア活性化推進事業」を活用することにより、より多くの市民や来街者に、横浜の歴史的建造物やまちの魅力を伝えることを目指して、以下の 2 つのイベントを実施した。</p> <p>（1）「山手ウィーク」：山手地区を中心に、横浜の歴史的建造物をテーマにした絵画の展示 10 月 23 日～30 日</p> <p>ベーリックホール 1 階を会場に、当会に寄贈されていた中川良一氏の歴史的建造物をモチーフとした絵画を展示した。</p> <div data-bbox="408 1111 855 1447" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="884 1106 1350 1447" data-label="Image"> </div> <p>（2）「ヨコハマヘリテイジセミナー」 10 月 23 日 山手の歴史的建造物を極める!!～街並の成り立ちから現在まで～</p> <p>講演 関 和明 見学解説 松井 健（鹿島建設株式会社）</p> <p>山手の西洋館の建物を中心にして、山手地区の街並の成り立ちや、ここを舞台にした歴史上の出来事を紹介した。セミナー会場は、近年、外観の修復を終えた「フェリス女学院 10 号館」（1929 年、A.レーモンド設計）で、非公開の建物内部の見学も実施した。</p> |

| | |
|----------------------|---|
| 事業名 | ホームページ開設・メンテナンス |
| テーマ | 会の組織、活動を紹介し、イベント案内や会員募集を行うためのホームページを随時更新する。 |
| 実施時期 | 平成22年4月～23年3月 |
| 実施場所 | — |
| 担当理事・社員等 (*外部協力者) | — *有限会社アビーム |
| 参加者/対象者 | 一般市民 |
| 概要 | <p>・セミナー、イベント等の開催案内、終了後の報告記事を掲載。</p> <p>・入会申込やイベントの参加申込（問合せフォームを活用）等も、ホームページから受け付けている。</p> |
| |  <p>The screenshot shows the homepage of YOKOHAMA HERITAGE. At the top, there is a navigation menu with links for Home, About, Organization, Support, Books, and Schedule. The main banner features a large image of a historic building with the text 'YOKOHAMA HERITAGE 歴史を生かしたまちづくり'. Below the banner, there are several content sections: 'Yokohama Heritage is...' with a brief description, 'News (Notice)' with a list of recent events and dates, 'Update Information' with a list of website updates, and 'Event Information' with a link to event details. The footer includes contact information for the Yokohama Heritage Association.</p> |

| | |
|-------------------------|---|
| 事業名 | 書籍販売 |
| テーマ | 当会及び旧団体より引き継いだ書籍を、書店等で販売 |
| 実施時期 | 平成 22 年 4 月～23 年 3 月 |
| 実施場所 | 有隣堂・神奈川県立歴史博物館・横浜都市発展記念館他 |
| 担当理事・社員等 (* 外部協力者) | － － |
| 参加者／対象者 | 一般市民 |
| 概要 | <p>販売実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市の記憶－横浜の土木遺産 53 冊 ・都市の記憶－横浜の主要歴史的建造物（第 4 版） 517 冊 ・ 同（第 5 版） 80 冊 ・横濱新聞縮刷版【創刊号～第 20 号合本】 94 冊 <p>・</p> <p>今期売り上げ合計 <u>¥416,356</u></p> |






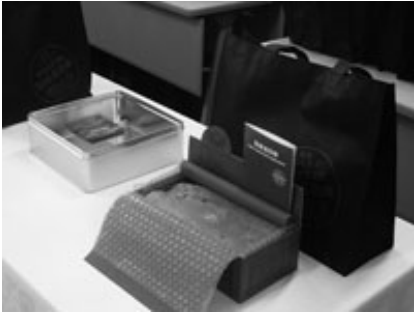


| | |
|----------------------|---|
| 事業名 | 『都市の記憶－横浜の主要歴史的建造物』改訂第5版印刷 |
| テーマ | 『都市の記憶－横浜の主要歴史的建造物』改訂第5版印刷 |
| 実施時期 | 平成23年2月～23年3月 |
| 実施場所 | － |
| 担当理事・社員等 (＊外部協力者) | － ＊NDC グラフィックス |
| 参加者／対象者 | － |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市都市整備局より、改訂第5版の版下を借り受け、当会で印刷（改訂版版下作成は、受託業務「歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務」の一環で実施） ・3000部印刷  |

(2) 受託事業

| | |
|----------|---|
| 15 | |
| 事業名 | 「歴史を生かしたまちづくり横濱新聞第25号」編集協力 |
| 委託者 | 横浜市都市整備局都市デザイン室 |
| テーマ | 「歴史を生かしたまちづくり横濱新聞第25号」の編集協力 |
| 実施時期 | 平成23年1月～3月 平成23年3月18日発行 |
| 実施場所 | - |
| 担当理事・社員等 | 吉田鋼市（理事） 米山淳一（常務理事） |
| (*外部協力者) | *ヤング荘 |
| 参加者／対象者 | 関係施設に送付。希望者には、都市デザイン室等で頒布 |
| 概要 | <p>・A2 二つ折り 4色 ・発行数 4000部</p> <p>1面 インペリアルビルの紹介（認定） 2面 川崎鉄三／象の鼻パーク／赤レンガ倉庫 ユネスコ・アジア太平洋遺産賞／横浜税関 公共建築賞受賞／旧伊藤博文邸ライトアップ 3面 外交官の家100年／山手聖公会壁面改修／伊藤医院外観改修／長浜検疫所資料／旧江ヶ崎跨線橋／OPEN！HERITAGEin 山手 4面 ヨコハマヘリテイジのこの1年／ヨコハマヘリテイジの紹介</p> |
| | <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |

| | |
|----------------------|---|
| 事業名 | 『都市の記憶－横浜の主要歴史的建造物』の改訂 |
| 委託者 | 横浜市都市整備局都市デザイン室 |
| テーマ | 『都市の記憶－横浜の主要歴史的建造物』の改訂（第5版の版下作成） |
| 実施時期 | 平成22年12月～23年2月 |
| 実施場所 | － |
| 担当理事・社員等 （*外部協力者） | － *NDC グラフィックス |
| 参加者／対象者 | － |
| 概要 | ・ 6件の建築物等を追加し、マップの更新、インデックスの更新等、関連ページの改訂を行った。 |

| | |
|----------------------|---|
| 事業名 | 堀割川の魅力ツール作成業務 |
| 委託者 | 横浜市磯子区（区政推進課） |
| テーマ | 堀割川が「土木学会選奨土木遺産」の認定を受けたのを記念した、PRツールの作成 |
| 実施時期 | 平成22年12月～23年3月 |
| 実施場所 | － |
| 担当理事・社員等 （*外部協力者） | － *ヤング荘 |
| 参加者／対象者 | － |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> 堀割川及び区内の歴史的建造物等を紹介するリーフレットの編集・デザイン・版下作成 同 パネルのデザイン及び作成 PRツールの企画（親柱をデザインした革製ストラップ） <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p>ストラップ完成品</p>  <p>リーフレット外面</p>  <p>リーフレット内面</p> </div> |

| | |
|--------------------------|--|
| 事業名 | 旧帝蚕倉庫赤レンガ配布事業 |
| 委託者 | 旧帝蚕倉庫赤レンガ配布事業実行委員会 (株式会社相鉄エージェンシー) |
| テーマ | 解体された旧帝蚕倉庫のレンガを市民に配布する事業について、募集事務及び講演実施等を協力 |
| 実施時期 | 平成 22 年 10 月 |
| 実施場所 | 中区 |
| 担当理事・社員等 (*外部協力者) | 吉田鋼市 (理事) 米山淳一 (常務理事) 堀 勇良 (理事) - |
| 参加者/対象者 | 定員 150 名×2回実施 |
| 概要 | <p>・レンガ配布の募集受付事務として当会事務局が窓口になり、問合せ対応、応募ハガキの受け付け等の運営協力を行った。実行委員会及び事務局協力の株式会社相鉄エージェンシーとともに、抽選、返信作業等を実施した。</p> <p>・配布実施日に開催するセミナー（講演：吉田理事、見学解説：堀理事）の準備、受付等を担当。</p> |
| |    |

| 19 | |
|----------------------|--|
| 事業名 | 第 33 回 歴史を生かしたまちづくりセミナー (中止) |
| 委託者 | 横浜市都市整備局都市デザイン室 |
| テーマ | 「近代建築の見方、楽しみ方」(写真家 増田彰久氏) |
| 実施時期 | 平成 23 年 3 月 19 日 |
| 実施場所 | 中区山手町 神奈川近代文学館 |
| 担当理事・社員等 (*外部協力者) | - - |
| 参加者/対象者 | 定員 200 名 |
| 概要 | <p>東日本大震災(3月11日)の影響で、停電や余震による交通機関の乱れや参加者の安全などが心配されたため、中止された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当会では、事前の広報活動、募集受付、参加証の送付を行った。 ・ 中止決定により、参加予定者への中止連絡を行った。 |

3. 会員事業

| 20 | |
|----------------------|--|
| 事業名 | 「ヨコハマヘリテイジサポートクラブ会員」の募集・管理 |
| テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、リーフレット等の制作 ・チラシ、ホームページ等での会員募集 ・会員情報の管理、会員証発行 |
| 実施時期 | 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 |
| 実施場所 | － |
| 担当理事・社員等 （*外部協力者） | － － |
| 参加者／対象者 | 個人会員 76 団体会員 2 賛助会員 2 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのセミナー参加者等に会員募集の案内を送付したほか、イベント等で PR。 ・会員申し込みは、ハガキ(リーフレット)、ホームページの申込フォーム、ファックス等で受付、申込者に対して会員規約と会費振込口座の案内を送付。入金を確認しだい、会員証のハガキを送付している。 ・会員にはイベント等の案内を一般公募に先駆けて案内、優先的に受け付けている。 |

| 21 | |
|----------------------|--|
| 事業名 | 会員向けメールマガジンの発行 |
| テーマ | 会員向けサービスの一環としてイベント情報の提供（会員優先募集等）、会員向けの連絡等をメールマガジンで行う。月 1 回発行。 |
| 実施時期 | 平成 22 年 4 月～23 年 3 月 |
| 実施場所 | － |
| 担当理事・社員等 （*外部協力者） | － － |
| 参加者／対象者 | 対象：メルマガ希望の会員、社員 発行数（H23 年 3 月時点）：会員 66 通、社員 15 通 計 81 通 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・創刊号 H22 年 4 月 ・2 号 5 月 ・3 号 6 月 ・4 号 7 月 ・5 号 9 月 ・6 号 11 月 ・7 号 12 月 ・8 号 H23 年 3 月 ・その他 号外（2 回） |

4. その他（地域伝統文化総合活性化事業 文化庁）

| | |
|--------------------------|---|
| 22 | |
| 事業名 | 平成 22 年度地域伝統文化総合活性化事業 横浜の近代建築資産の保全・活用によるまちの魅力づくり |
| 委託者 | 文化庁（委託契約） |
| テーマ | 横浜の近代建築資産の保全・活用によるまちの魅力づくり |
| 実施時期 | 平成 22 年 7 月～23 年 3 月 |
| 実施場所 | 横浜市内（中区） |
| 担当理事・社員等 （*外部協力者） | 宮村 忠、吉田鋼市、関 和明、堀 勇良、水沼淑子、鈴木伸治、内田青蔵、坂本勝比古、西 和夫、大野 敏 *山手歴史文化研究会、山手西洋館ボランティアネットワーク、ヨコハマ洋館探偵団、森山奈緒子、有限会社アビーム、朝倉事務所 |
| 参加者／対象者 | - |
| 概要 | <p>これまで横浜の歴史的建造物の保全・活用に取り組んで来た人材や団体との協働事業を通して、地域の文化遺産を生かしたまちづくりの取り組みを総体として充実させるとともに、「近代建築資産」の保存や活用を進め、更なるまちの魅力づくりへつなげることを目的とする。</p> <p>1. 市民啓発セミナー（No. 6 自主企画セミナーで前述）</p> <p>2. 人材研修会</p> <p>○第 1 日目 2011 年 2 月 5 日（土） 会 場 横溝屋敷（鶴見区） / 参加者 34 名 (1) 民家の保存・活用事例における横浜市の特徴（講師：大野 敏） (2) 見学</p> <p>○第 2 日目 2011 年 2 月 26 日（土） 会 場 横浜市開港記念会館 / 参加者 32 名 (1) 歴史的建造物の掘り起こしから、保存、修復、活用のながれ（講師：西 和夫） (2) 横浜市の歴史的建造物の現状と行政の取り組み（講師：都市整備局都市デザイン室、教育委員会事務局生涯学習文化財課） (3) わが国の歴史的建造物の保存・再生小史（講師：内田 青蔵） (4) 保存・活用の取組事例紹介</p> <p>3. 山手地区洋館の現況調査 横浜市内でもとくに近代建築資産の多く残る山手地区を調査対象地区とし、山手の歴史的建築資産の中心をなす洋館について詳細な調査が実施された「横浜山手 横浜山手洋館群保存対策調査報告書」をベースに、これと比較することで、現存状況を確認する調査を行った。</p> <p>4. 記録作成 実施イベント、調査等の記録を作成。 http://yokohama-heritage.jp/bunka22/</p> |